

# 令和6年度 讃岐国府跡第42次調査 現地公開資料

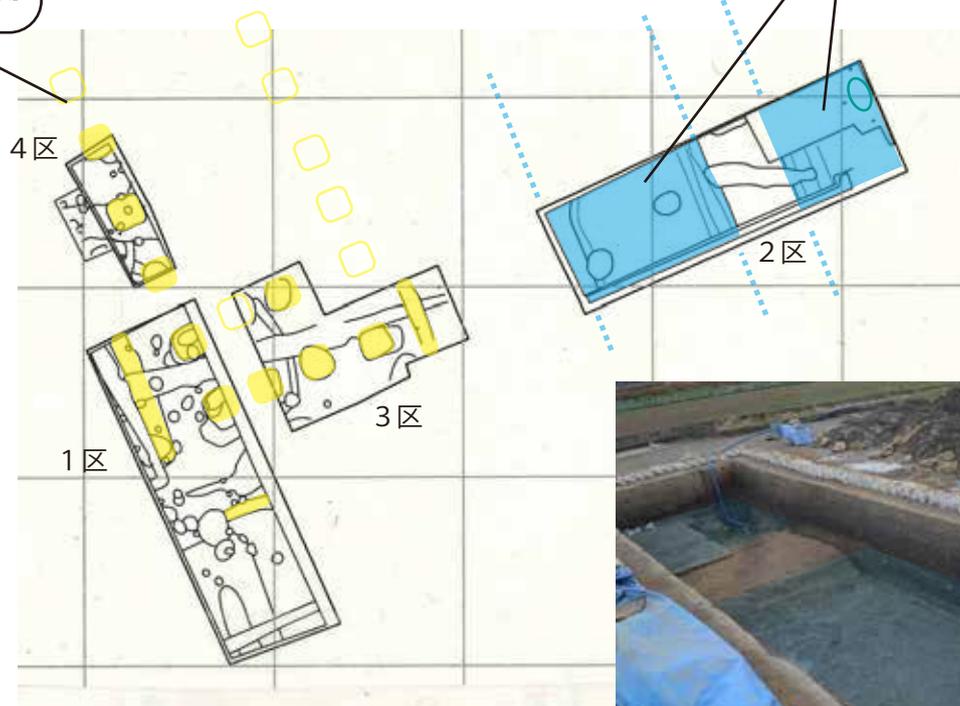
令和7年1月14日～17日  
香川県埋蔵文化財センター



大型掘立柱建物の柱穴（西から）

香川県埋蔵文化財センターでは、平成21年度から讃岐国府跡の調査を継続しており、今年度の調査でも大きな成果が得られました。これもひとえに、長年にわたる地元の皆様のご理解、ご協力によるものであり、心より御礼申し上げます。今後も当センターは、地元の皆様とともに地域の歴史を明らかにしていきたいと思っております。

大型掘立柱建物



▲ 遺構平面図



区画溝（北西から）

## 調査成果のまとめ

- ①37次調査で見つかった掘立柱建物の延長線上に、東西3間、南北4間以上の規模の掘立柱建物が見つかりました。
  - ②37次調査で見つかった南北溝が42次調査地まで続いていることがわかりました。
- ⇒38次・6次・37次・28次・42次調査をおこなったエリアに、規格性をもった建物が立ち並ぶ大型の区画があることがわかりました。このことから、この場所が讃岐国府跡のなかでも重要なエリアである可能性が高まりました。

馬さし大貫

x=143700.00

y=39440.00

28次

42次

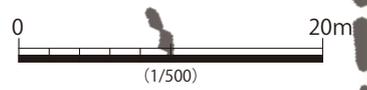
6次

38次

18次

23次

37次



▲ 42次調査とその周辺の調査地